



## ハンドボール

ぎふ清流国体ハンドボール競技

## 結果報告

No.14

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月7日(日)	試合記号	Bス	回戦	3回戦準決勝
種別	少年女子	会場	飛騨・世界生活文化センター		
A(都道府県名)			B(都道府県名)		
香川県			富山県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
27	14	前半	10	23	
	13	後半	13		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

## 【 戦 評 】

記載者氏名 高橋 千津子

少年女子準決勝は、今年のインターハイ覇者、県立高松商業の選手でそろえた香川県に対し、インターハイ3回戦で、県立高松商業に僅差で敗れた高岡向陵を中心とした富山県が、リベンジを期す対戦となった。富山県のスローオフで始まったが、両チームとも3分まで無得点。3分25秒過ぎ、香川県11番谷が、ロングシュート、速攻、カットインシュートと3連続得点を挙げてチームに勢いをつけると、対する富山県もすかさず反撃し、10番北原、3番佐々木のミドルシュートなどで追いつき、中盤は、ほぼ互角の戦いとなった。その後、富山県は、左45°の佐々木がシュートコースを打ち分け2連続得点を挙げるが、香川県は、固い守りで相手のミスを誘って速攻につなげた。セットオフenseでは、左45°の11番谷の動きにポストが合わせてブロックに入り、谷がロングシュートをたて続けに決めて4点差をつけて前半を終えた。

後半、富山県は、香川県のエース谷へのマークを強めて失点を抑えると、3番佐々木のロングシュート、ステップシュートなどで得点を挙げ、8分に追いついた。追いつかれた香川県は、速攻やカットイン、ポストプレーなど、足をつかったスピードある攻めで反撃。再び富山県を突き離し6点差とすると、22分、流れを断ちたい富山県がタイムアウトをとった。その後も、くい下がる富山県に対して、終始、先行し続けた香川県が、激戦を制した。